

令和7年度 川地連合自治会 第4回 理事会

7月15日(火)

1 開会

2 連合会長あいさつ

3 周知・協議内容 * ■印 要報告

-
- (1) ○参議院選挙 7/20 7:00~20:00 *選挙公報 7/9広報配布
○川地ふる里まつり参加者募集チラシ、アイデア募集チラシ 7/9 広報配布
*第1回実行委員会 8/21 JA 三次西支店
○連合役員メール 連合自治会アドレスへ直結
○三次市自治連定例会 7/16 10:00 ペペら 連合会長、前川
○連合年会費の納入のお願い まだの自治会は早めに入金してください 中の村
○三次きんさい祭り 7/26
○介護支援専門員協会三次市ブロック研修会 7/16 13:30~15:30 *チラシ

総務係・生活係・体育生涯学習係

- 青色防犯パトロール 6/14 異常なし
○食育支援会議 7/18(金) 18:00~

福祉係(川地地区社会福祉協議会)

- 合同敬老会実行委員会 9/5 19:00
■参加希望者の取りまとめ、準備スタッフの報告 8/18

編集係

○

広報仕分け係 *定例 毎月9日(土日の場合は前倒し)

- 仕分け 8/8(金) 17:00

青年企画部

(2) 単位自治会関係(連絡事項、理事会で協議してもらいたいことなど)
(上川立上)

(上川立中)

(下川立)

(岡城)

(中の村)

(志和地)

(瀬谷)

(秋町)

(3) 新 川地まちづくりビジョンの策定計画について

まちづくりビジョン策定チームの組成 チームメンバーの公募チラシ 7/9 広報配布

(4) 活動支援交付金選択事業(全体枠 160万円)について

岡城 136,000円

中の村 892,000円

連合事務局 415,000円 合計 1,443,000円 7/18三次市入金

(5) 三次市市立小中学校のあり方に関する方針について

6/25 保護者説明会

7/9 地域説明会

* 参考資料 藤岡市議会議員作成 意見取りまとめ

市教委からはこれが最後だとは言われていないので、これから次のステップへ進むには・・・

【理事会】

令和6年度
令和7年度

連合役職・理事		単位自治会	役職	氏 名	単位・副会長等 氏名
1	連合会長	下川立地区		久保田 博 昭	
2	副会長	志和地	会長	中 河 博 司	山 本 興 一
3	副会長		会長		
4	理事	上川立上	会長	境 辰 夫	山 広 勝 義
5	理事		事務局長	松 岡 英 徳	
6	理事	上川立中	会長	福 本 幸 則	岩 広 真 弓
7	理事		事務局長	西 川 三 千 男	
8	理事	下川立地区	会長	久保田知可治	波 多 野 進
9	理事		事務局長	渋谷 憲 二	
10	理事	岡城	会長	村 岡 静 明	河 野 隆 史
11	理事		事務局長	有 馬 健 三	
12	理事	中の村	会長(代)	末 國 富 雄	長 岡 憲 治
13	理事		事務局長	川 本 正 勝	
14	理事	志和地	事務局長	重 保 清 隆	
15	理事	瀬谷	会長	国 政 裕 次 郎	野 崎 浩 昭
16	理事		事務局長	国 政 良 信	
17	理事	秋町	会長	田 中 佳 博	神 山 公 生
18	理事		事務局長	藤 岡 一 興	
19	理事	川地地区社協	会長	玉 井 隆 行	
20	連合		事務局長	前 川 渉	

*	川地防災士会	代表	森 田 健 二	
---	--------	----	---------	--

顧問	鈴 木 深 由 希	
顧問	藤 岡 一 弘	

次回は
8月19日(火)
19:00~



川地ふる里まつり

第23回

開催・参加者募集のお知らせ



川地ふる里まつりは、志和地系ポタンまつりと公民館まつりを起源に、これまで地域の皆様に支えられ川地地区の一大行事に育ち、地域住民の絆づくりに大きく貢献してきました。

昨年の第22回川地ふる里まつりは、天候の心配が続き時折の小雨でしたが、自治会の皆さまを始め、地域の方々のご理解、ご協力をいただき、盛況のうちに終えることができました。

今年は第23回開催となります。まつりの目的である「川地地域の産業振興、美しい自然の保持、伝統・文化の継承による地域の絆づくり」を進め、子どもたちのためにもがんばっていきましょう。

つきましては、作品展示、ステージ発表、農産物、地場商品などの即売及びふれあいバザーの参加者を次のとおり募集します。

川地ふる里まつり実行委員会 実行委員長 久保田 博昭

日時 令和7年11月16日(日) 9時30分～15時30分

場所 川地中学校

テーマ ふれあいで築こう 元気あふれる ふる里川地
文化芸術作品の展示・楽器演奏や郷土芸能などのステージ発表
農産物・リサイクル用品・地場商品などの販売
各自治会や団体のふれあいバザーなどを行います。

運営費 運営費として1戸200円のご協力をお願いします。

申し込み お申込は8月18日(月)までに下記申込書にご記入の上、
川地コミュニティーセンターまたはJAひろしま三次西支店へご提出ください。
なお、8月21日(木)開催の第1回実行委員会には詳細に関する申込書をお渡ししますので代表者または、代理の方が必ずご出席ください。(別途ご案内します。)

お問合せ 川地連合自治会 TEL:(0824)67-3757(Fax兼) MAIL:kawachi@m-city.jp

主催:川地ふる里まつり実行委員会

第23回川地ふる里まつり 出演・出店・展示申込み書

↓参加内容に○

☐出演 ☐出店 ☐展示

詳細につきましては、
後日、別途申込いただきます。

団体名

代表者名

住所

三次市

町

電話番号



楽しく!



面白く!



川地ふる里まつり

企画部員募集!

川地ふる里まつりを
より楽しく!より面白く!

企画部では、ステージイベントを考えたり、
みんなが参加したくなる景品を考えてみたい!
楽しいおまつりにするために
新たなアイデアを探しています!
ぜひあなたのアイデアで
楽しい川地ふる里まつりにしましょう!

お問合せ・お申込み

川地連合自治会

三次市下志和地町663-8 川地コミュニティーセンター内

MAIL:kawachi@m-city.jp

TEL:(0824)67-3757(FAX兼)

8月6日19時会議予定です。【募集締切7月31日(木)】

お名前

住所

三次市

電話番号

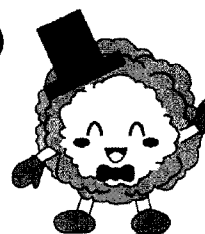
第23回 川地ふる里まつり 企画アンケート

あなたのアイディアで楽しくしよう!

第23回川地ふる里まつりも皆さんと一緒に楽しいお祭りをつくりたいと思っています!ぜひアンケートにご協力ください!

(すべて記入しなくてもOKです。気になる項目だけでもどうぞ!)

8月1日までに川地コミュニティーセンターにお持ちいただくか、
スマホにて、右QRコードからご回答いただけます!



1. オープニングアイディア どんなオープニングがあるとワクワクしますか?(昨年:オープニング楽曲演奏)

2. ステージイベントアイディア ステージで見たい・参加したいイベントは?(昨年:風船割り、仮装コンテスト)

3. 体育館活用アイディア(飲食禁止) 体育館で体験したい・見たいことは?(昨年:射的・整体コーナーなど)

4. 抽選会景品 もらえて嬉しい・嬉しかった景品は?(昨年:空気清浄機、君田温泉回数券など)

理事会役員 メールアドレス登録

／ 川地連合自治会へ、メールをお願いします！ ／

kawachi@m-city.jp

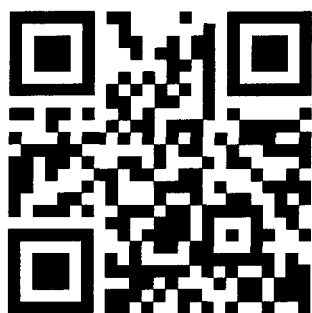


◀QRコード読み取りでも送信できます！読み取り後、「メール作成画面はこちら」をクリック。名前を記入し送信してください。

理事会役員 メールアドレス登録

／ 川地連合自治会へ、メールをお願いします！ ／

kawachi@m-city.jp



◀QRコード読み取りでも送信できます！読み取り後、「メール作成画面はこちら」をクリック。名前を記入し送信してください。

机上訓練を通じて地域の諸団体の役割を知り、介護支援専門員として地域とどのように連携し役割分担を行えばいいか学びます。地域での取り組みを理解した上で、平時の地域との関わりや災害時にそれぞれのケースにおいてどのように行動していくのかを考える研修会です。

ぜひ、ご参加ください。

日 時 令和7年7月16日(水) 13:30～15:30

場 所 三次市福祉保健センター4階ふれあいホール

内 容 『BCP 机上訓練を通じて地域の役割を理解し、
地域との連携や役割分担を考える』

講師 福山市西南部地域包括支援センター
センター長 今岡 拓也先生

定 員 50名程度

対 象 三次市介護支援専門員連絡協議会会員(入会予定も含む)

申込方法 三次市介護支援専門員連絡協議会ホームページよりお申込みください
URL:miyoshi-cm.net



締 切 7月11日(金)

そ の 他 生涯学習単位認定申請中

【主催】広島県介護支援専門員協会三次市ブロック

【共催】三次市地域包括支援センター 【後援】三次市介護支援専門員連絡協議会

【問合せ先】三次市ブロック・三次市介護支援専門員連絡協議会事務局

(三次市地域包括支援センター 担当:長谷川・山平・牧野)

TEL:0824-65-1146 FAX:0824-65-1132 メール:miyoshi-houkatu@aa.wakwak.com

一緒につくろう

川地の未来

新 かわちまちづくりビジョン

制定メンバー

募集



みんなが安心して暮らせる、子どもがのびのび育つ、高齢者も楽しく元気に暮らせる…など、あなたの「こんな地域にしたい」想いを聞かせてください！川地の5年後・10年後の行動ビジョンを一緒に考えていきませんか？

素案に基づき
チームでアン
ケートを作成

川地のみなさ
んへアンケー
ト実施します

集計後チーム
にて協議を重
ねます

「新・かわちま
ちづくりビジョ
ン」制定！！

募集期間 2025年7月9日～8月8日

募集人数 6名程度

協議期間 (予定) 2025年10月下旬～2026年3月頃 ※制定期限は目安です
月1回程の協議【19:00～20:00 ※メンバーにより変更可】

応募
問合せ 川地連合自治会 事務局 (担当:前川)
0824-67-3757 kawachi@m-city.jp

令和7年7月10日(木)

「三次市市立小中学校のあり方に関する基本方針」川地地区地域説明会について(まとめ)

1. 開催日時 令和7年7月9日(水) 19:00~21:15
2. 開催場所 川地コミュニティセンター
3. 説明員 三次市教育委員会(教育長、教育部長、地域共創部長、教育企画課長、社会教育課長、他職員 2名)
4. 参加人数 約57人 ※説明員除く
5. 対象参加者 川地地域住民
6. 会の進行 ①教育長挨拶・説明→②基本方針説明動画視聴→③補足説明→④質疑応答



7. 質疑応答でだされた質疑及び意見(順不同)

- ① 今回の中学校の再配置は決定事項なのか。このことは、今後の質問や意見を言う時に重要である。また、説明会も1回のみなのか。
- ② 説明資料に「理解と協力を得ながら進める。」とあるが、この中学校の再配置(統合)は、地域・保護者の理解と協力が得られなくとも、進めるつもりなのか。
- ③ 地域や保護者から反対の声があれば、計画を見直すのか。
- ④ 民意を欠く決定で良いのか。改めて、理解と協力を得て計画を進めて欲しい。
- ⑤ 議会で君田中学校の設置管理条例廃止が反対になったと新聞報道でみた。今後、君田中学校はどうなるのか。
- ⑥ 十日市中学校は浸水想定区域だが水害は大丈夫なのか。子ども達の学びの環境について、防災面では安全ではないと考える。
- ⑦ 地域のつながりや社会性など、なぜ今の川地中学校の環境でできないと判断されたのか。現状の何がダメなのか。
- ⑧ 地元の地域でしか学べないことがあると考える。教育委員会はクラス替えが必須のようなことを言うが、クラス替えができるメリットは何か。
- ⑨ 小学校の小規模特認校について、学校の決定などある程度決まっているのか。
- ⑩ 小規模特認校へ行かせたい児童が多かった場合、審査や抽選などがあるのか。
- ⑪ 小中学校は義務教育なので、統合であろうが制服は保護者負担ゼロになるように市が用意すべきでないか。また、小規模特認校の準備がある程度できた時点で、保護者や市民に示されるのか。
- ⑫ 通学や制服など、再配置に関わる保護者負担は限りなくゼロにすべきではないか。

- ⑬ 再配置なので、新しい学校をつくるというのであれば、どこの学校に行けるように、全ての制服を同じにすれば良いのではないかな。
- ⑭ 将来の話だが、放課後児童クラブ（小学生）がどうなるのか。将来、川地小学校が中心部の小学校に統合され時に、送り向かいなどは難しいと考える。
- ⑮ 通学方法について、芸備線・路線バス・スクールバスの費用対効果など比較して、どれが一番効果的なのか提示してもらいたい。
- ⑯ ビジョンが何も書いていない、教育や地域の将来をどう考えているのか。
- ⑰ 自分の子どもは卒業生であるが、「学校のない地域に将来戻ってくることはできないだろう。」と考えている。同じように考える卒業生もいると思うが、ますます過疎化や人口減少が進んでしまう。学校がなくなる周辺地域のことをどう考えているのか。
- ⑱ 自分の子ども社会人になった。いずれ地元に戻ってきて欲しいと思っているが、やはり学校の存在は大きいと考える。だから、これから学校がなくなっても、三次市に、そして地元に戻ってくる理由や魅力は考えないといけない。子育てなど様々であるが、学校がないとしても地元に戻ってくるだけの魅力は何であると考えているのか。「三次だからできること」をどう考えているのか。
- ⑲ まったく周辺地域のことを考えていないのではないかな。周辺地域にとって学校の存在はとても大きいものである。
- ⑳ 将来を見据えて、川地小・中学校は残してもらいたい。
- ㉑ 川地の教育現場（学校や家庭）から「児童の人数が少なくて、教育が限界である。」などの声が教育委員会に届いているのか。
- ㉒ 子どもの為と説明で言われているが、本当に子どもの為なのか。市政運営の視点で教育環境を考えていないか。この計画で「最後まで面倒をみる。」と言いきれるのか。
- ㉓ この再配置計画は、子ども達の為でなく、三次市としての方針としての計画ではないか。まだそうだとしてくれた方が理解できる。
- ㉔ 人数による統合の話しかしていないように聞こえる。人数だけの話ではなく、一人一人の子どものことを考えてもらいたい。川地では地域も協力して、給食の食材提供をはじめ、学校教育へ関わりをもってきた。しかし、教育委員会の説明は、これまで川地地域がやってきたことが悪いことのように言われている感じがする。給食のときも半強制的に取り上げられ、今度は学校もなくなってしまう。これはとても残念である。私達が求めることは、決定ありきの説明ではなく、話し合いをさせてもらうことである。

8. その他の発言について

- ・ 説明会の中で、「必要に応じて再度、説明会を開催させて頂きたい。」と教育委員会から発言あり。

このまとめ（発言の記録）は、三次市教育委員会公認のまとめではありませんので、ご注意下さい。また、上記以外にも多くの意見や質問がだされましたが、類似する意見や質問は要約してまとめております。

作成者 藤岡 一弘